

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1
お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



<https://www.convum.co.jp>

当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号
TEL 03-3759-1491 (代表)



株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

証券コード TSE：6265



Convum Opens up New Value chain as an Useful Method

第67期 事業報告書

2017年1月1日～2017年12月31日



人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第67期（2017年1月1日～2017年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。



「コンバム・パッドNo.1」をスローガンに、
魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、
継続的な企業成長を目指してまいります。

代表取締役社長 伊勢 幸右

Q1 第67期の業績についてご説明ください。

第67期の連結売上高については、2,614百万円（前年同期比116.1%）となりました。国内市場においては、IoTやAI等の流れに応じて、各種電子部品需要が加速し、半導体関連への設備投資が旺盛となりました。また、各種生産設備の自動化推進の流れに対応した営業活動に取り組むことにより、売上高は1,515百万円（同111.6%）となりました。

海外については、韓国市場では、大手半導体および有機ELパネル業界の設備投資の拡大と共に、業界

に向けた新製品を積極投入し、売上高は473百万円（同119.5%）となりました。中国市場では、昨年立ち上げた深セン地区での営業強化を実施し、電子部品関連業界への拡販に努め、売上高は225百万円（同120.3%）となりました。その他では、東南アジア市場についてはタイ国を中心に近隣諸国の自動車業界へ拡販活動を推し進めました。米国市場では新規顧客開拓と、在庫拡充による納期対応力強化をおこなってまいりました。この結果、売上高は85百万円（同103.6%）となりました。連結海外売上高は、1,098百万円（同123.0%）となり、連結海外売上高比率は42.0%となりました。

Q2 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2018年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,790百万円、連結経常利益463百万円、親会社株主に帰属する当期純利益298百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

営業、開発面においては、引き続き人員を増員し体制強化を図ってまいります。グループ全体で、当社の主力顧客業界のニーズに合わせた新製品を投入することで、各業界でのシェア率を上げ、売上の拡大を目指します。また、ロボット需要が高まる中、ロボットハンド（ロボットの手となる部分）の開発を進行するとともに、ロボットメーカーとの協力体制を構築し、関連展示会への積極出展及び拡販活動

を行ってまいります。主力顧客業種である、自動車及び半導体関連の顧客に対しても新製品を積極投入し、国内装置メーカーへのスペックイン（新規装置への採用）から、当社現地法人の韓国、中国、タイ及び周辺諸国への横展開を目指してまいります。また、2016年に設立した米国では、現地新規顧客及び新規市場開拓に注力して取り組んでまいります。中期的には、継続して海外売上高比率50%を目指してまいります。

製造面においては、設備投資を積極的に行い、製造効率の改善、システムを活用した納期対応力の強化を継続し、価格競争力の強化と顧客満足度の向上を目指します。また、製造部門においても技術の継承と若返りを図る為に、人員体制を強化いたします。併せて、真空機器のパイオニアメーカーとして、グローバルな品質管理体制の構築に努めてまいります。

では、中間配当金を1株あたり4円00銭、期末配当金を1株あたり6円00銭（年間10円00銭）とさせていただくことといたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を上げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Q3 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

妙徳グループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。その為にはメーカーとしての根幹である、新製品開発と市場投入を積極的に推し進めていきます。

株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

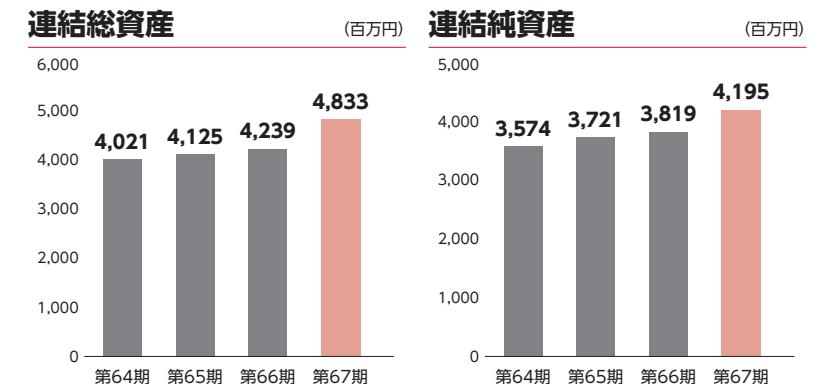
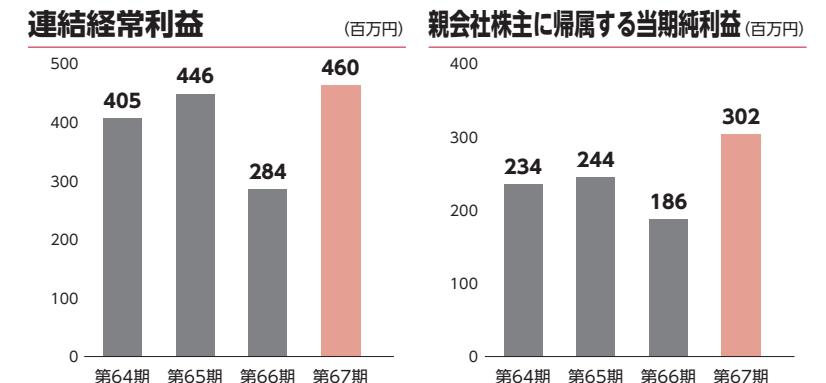
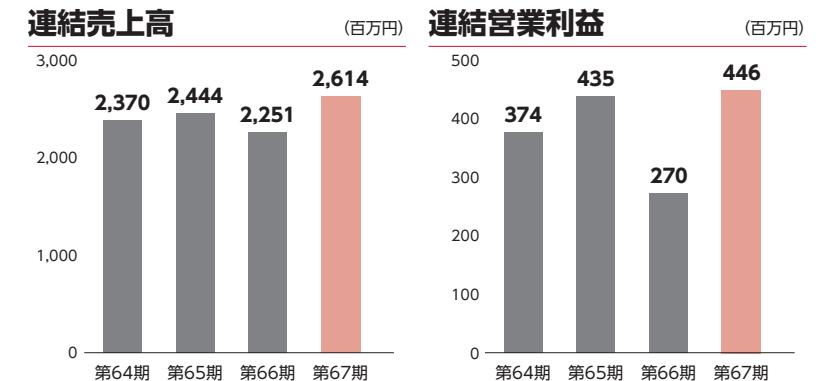
このような方針のもと、第67期の配当につきまし

売上高
26億14百万円 
(前年同期比 16.1% 増)

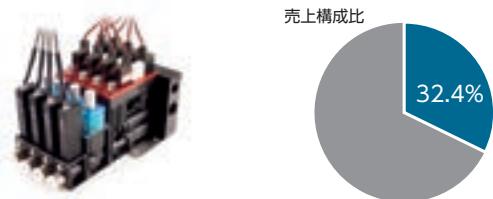
営業利益
4億46百万円 
(前年同期比 65.2% 増)

経常利益
4億60百万円 
(前年同期比 61.8% 増)

親会社株主に帰属する当期純利益
3億2百万円 
(前年同期比 62.2% 増)

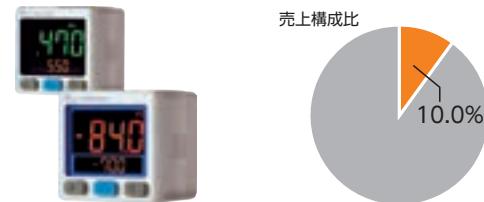


コンバム 売上高 8億4千7百万円



主要顧客業種である、半導体製造装置業界の需要の改善と、中国市場でのスマートフォン関連設備及び車載向け電子部品業界への拡販活動により、当期の連結売上高は847百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は、吸着パッド、圧力センサの比率増により32.4%となり、前年同期比2.4ポイント低下いたしました。

圧力センサ 売上高 2億6千2百万円



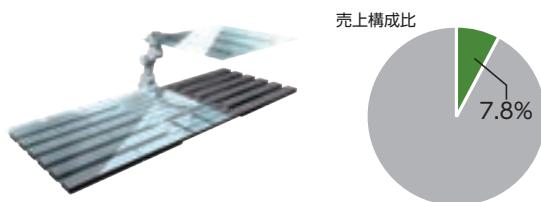
コンバム同様、主要顧客業種が半導体製造装置業界であることから、需要に改善が見られ、当期の連結売上高は262百万円となりました。また、売上高構成比は10.0%となり、前年同期比2.1ポイント上昇いたしました。

吸着パッド 売上高 13億2百万円



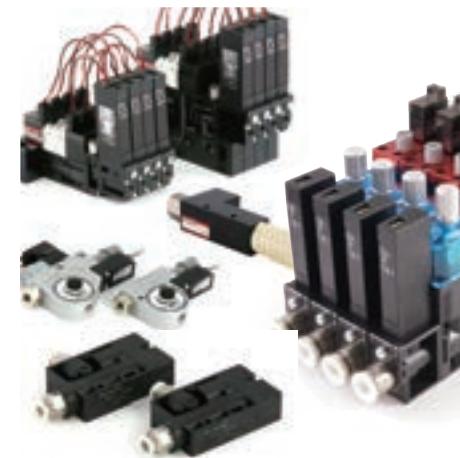
設備投資需要の回復により、販売は堅調に推移いたしました。また、半導体製造装置業界、液晶パネル製造装置業界、自動車関連設備業界、食品関連業界に対して、各業界向けに特化した新製品を積極的に市場投入した結果、当期の連結売上高は1,302百万円となりました。売上高構成比は49.8%となり、前年同期比1.8ポイント上昇いたしました。

FA機器その他 売上高 2億1百万円



真空関連機器および真空ポンプ等の一般設備機器は、前期比で売上高は若干減少いたしました。液晶パネル関連業界向けの浮上搬送ユニットについても、前期同様の売上となり、当期の連結売上高は201百万円となりました。売上高構成比は7.8%となり、前年同期比1.5ポイント低下いたしました。

CONVUM®



CONVUM®は圧縮空気を利用して真空(負圧)を発生させる真空発生機器です。圧縮空気をノズルから放出(エジェクト)させることから「エジェクタ」又は「エジェクタポンプ」と呼ばれます。

About CONVUM®

CONVUM® **コンバム**とは**コン**プレッサからの圧縮空気での**バ**キューム(真空)を発生させることをイメージして創りだした造語です。CONVUM®は当社の登録商標です。

PAD

パッドはコンバム等の真空発生機器より得られる真空(負圧)を利用してワーク(吸着物)を吸着し、持ち上げる製品です。「パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指)とも言えます。



SENSOR



気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理などさまざまな用途に使用されています。

Non-contact



圧縮空気を供給し、空気の性質を利用して、ワーク(搬送物、吸着物)を非接触(浮かして)の状態での搬送・吸着を行う機器。液晶ガラス、フィルム、電子基板などゴムパッドでは搬送できないワークの搬送に使用されます。

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

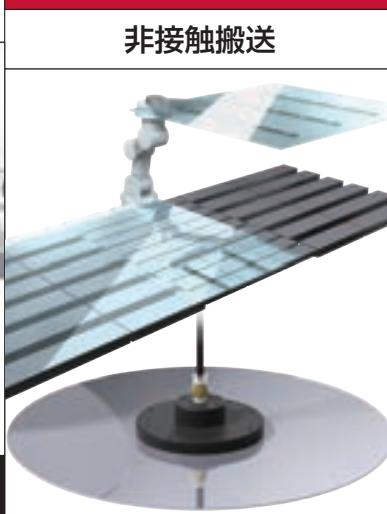


取付・プレス



食品の吸着搬送

妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍。生産の自動化と品質の向上に貢献しています。



非接触搬送



梱包材の製函



ICチップの吸着搬送

トピックス1 「コンバムロボットハンドキット」販売開始

2017年12月に開催されました産業用ロボットの国際的な大規模展示会、国際ロボット展へ出展いたしました。展示会では、新製品の「コンバムロボットハンドキット」を出展し、当社ブースには、過去最高数となるお客様にご来場いただき、大きな反響をいただきました。

「コンバムロボットハンドキット」は、需要の益々高まる産業用ロボット業界に対して、ロボット導入時に必要な、物を掴むハンド部分の設計、製作、取付け等の工数の大幅削減を提案する新製品です。ロボットの使用時に、吸着対象ワークが変わるたびに行うハンド設計を「ロボットハンドを標準化=キット化」することで、ロボットを使用するお客様およびシステムインテグレーター様の工数を大幅に削減いたします。各メーカーロボット本体の取付け部に対応する、一般的な吸着搬送に適用できるロボットハンド部品を、当社が標準部品としてラインナップし、吸着搬送におけるノウハウを活かした、吸着パッド部分と併せてハンド部分を一体提案し、ロボットへ「手」を提供します。

今後は更にバリエーションを増やし、産業用ロボットの需要拡大と共に、売上拡大を目指してまいります。



コンバムロボットハンドキット



2017国際ロボット展 当社ブース

株式併合および単元株式数の変更についてのご案内

当社は2018年7月1日をもって、
 1. 当社の普通株式5株を1株といたします。(株式併合)
 2. 単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。(単元株式数の変更)

●株式併合による影響
 株式併合により、株主さまがご所有の当社株式数は5分の1に減少することとなりますが、純資産等は変動しませんので、1株当たり純資産額は5倍となり、株式市況の変動等の他の要因を除けば、当社株式の資産価値に変動はありません。

●ご所有株式数について
 株主さまの株式併合後のご所有株式数は、2018年6月30日の最終の株主名簿に記載されたご所有株式数に5分の1を乗じた株式数（1株に満たない端数が生じた場合はこれを切り捨て）となります。

●配当金への影響
 今回の株式併合により株主さまのご所有株式数は5分の

1となりますが、株式併合の効力発生後に、併合割合（5株を1株に併合）を勘案して1株当たりの配当金を設定させていただく予定ですので、業績変動その他の要因を別にして、株式併合を理由として受取配当金の総額が変動することはありません。ただし、株式併合により生じた端数株式（1株に満たない株式）につきましては、当該株式に係る配当金は生じません。

●1株未満の端数が生じる場合の処理
 株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合は、会社法の定めに基づき、当社が一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主さまに対し、端数の割合に応じて分配いたします。

●スケジュール
 2018年6月26日 1,000株単位での売買最終日
 2018年6月27日 100株単位での売買開始日
 2018年7月 1日 株式併合および単元株式数の変更の効力発生日

(2017年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第66期	第67期
	2016年12月31日現在	2017年12月31日現在
資産の部		
流動資産	1,989,682	2,460,867
固定資産	2,249,661	2,372,266
資産合計	4,239,344	4,833,133
負債の部		
流動負債	265,420	446,255
固定負債	154,220	191,054
負債合計	419,640	637,309
純資産の部		
株主資本	3,711,410	3,973,888
その他の包括利益累計額	86,855	200,501
新株予約権	8,389	4,606
非支配株主持分	13,048	16,827
純資産合計	3,819,704	4,195,824
負債及び純資産合計	4,239,344	4,833,133

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第66期	第67期
	2016年1月1日～ 2016年12月31日	2017年1月1日～ 2017年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,818	375,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,292	△258,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,712	△43,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,591	10,765
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	303,222	84,125
現金及び現金同等物の期首残高	735,905	1,039,127
現金及び現金同等物の期末残高	1,039,127	1,123,253

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第66期	第67期
	2016年1月1日～ 2016年12月31日	2017年1月1日～ 2017年12月31日
売上高	2,251,422	2,614,520
売上総利益	1,240,475	1,489,507
営業利益	270,064	446,262
経常利益	284,778	460,742
税金等調整前当期純利益	281,933	448,597
当期純利益	189,614	305,718
非支配株主に帰属する当期純利益	2,845	2,734
親会社株主に帰属する当期純利益	186,768	302,983

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第66期	第67期
	2016年1月1日～ 2016年12月31日	2017年1月1日～ 2017年12月31日
当期純利益	189,614	305,718
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	4,208	81,563
為替換算調整勘定	△29,427	32,982
その他の包括利益合計	△25,219	114,546
包括利益	164,394	420,265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	161,692	416,629
非支配株主に係る包括利益	2,702	3,635

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	130名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	東陽監査法人

役員の状況 (2018年3月23日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	岩元 武継 *
取締役	平野 実 *
常勤監査役	小畑 光伸
監査役	松本 博之 *
監査役	川野上 一春 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
33,000,000株	8,285,000株 (その内自己株式 911,949株)	1,151名 (前期末比 96名減)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢興産株式会社	1,413,800	19.18
伊勢 すが子	630,100	8.55
伊勢 幸治	412,050	5.59
妙徳従業員持株会	233,250	3.16
MSIP CLIENT SECURITIES	202,000	2.74
MTAsia株式会社	180,000	2.44
神谷 信一	148,000	2.01
株式会社日伝	140,000	1.90
伊勢 三郎	126,500	1.72
泉 真紀	122,500	1.66

*持株比率は、自己株式（911,949株）を控除して計算しています。

株価チャート

